

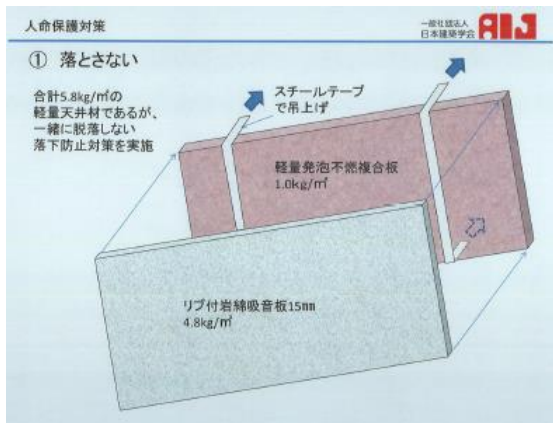
建築会館ホール/準構造+フェールセーフの下地を採用

本年9月15日に竣工された「日本建築学会 建築会館ホール」天井耐震改修工事で当社の下地工法が、採用されました。人命保護を最優先としながら、意匠性も考慮するための方策として、準構造+フェールセーフ方式での天井が採用されています。既存の天井重量をおよそ半分以上にする事などで、日本建築学会の「天井などの非構造材の落下防止ガイドライン」の内容にもある人命保護をしながら建物の機能維持を実現しています。

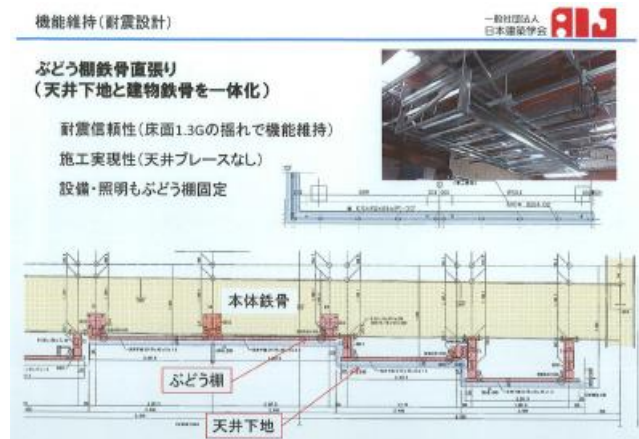
◆詳細について

本件では、建築工事で施工される鉄骨下地から先の、軽量鉄骨天井下地と呼ばれる部分の仕上げ材との取り合いや仕上げ精度、施工性の追及などを主眼におきながら、出来る限りシステム化した状況を想定しています。

【下図参照】



人命保護(軽量化+落とさない機構)



機能維持(天井+天井付帯設備の耐震化)

【工事 概要】

発注者：一般社団法人 日本建築学会

設計：秋元和雄、宮庄伸明 秋元和雄設計事務所

金田勝徳、小林真一郎 構造計画プラス・ワン

天井耐震化技術支援：清水建設株式会社

施工：清水建設株式会社

対象天井：建築会館ホール天井

工期：2014年7月13日～9月15日

天井下地：株式会社桐井製作所

資料抜粋：一般社団法人 日本建築学会 報道発表資料より

【上記内容に関するお問い合わせ先】

株式会社桐井製作所 開発部 お問い合わせ窓口 TEL:03-3539-6644

株式会社桐井製作所 営業本部 お問い合わせ窓口 TEL:03-3539-6620